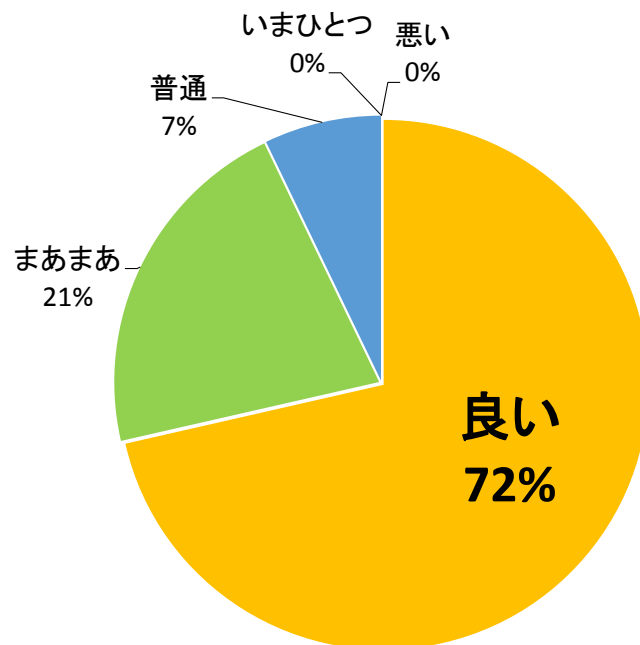


第 235 回 J. I. フォーラム アンケート  
「先端から末端、そして先端へ」

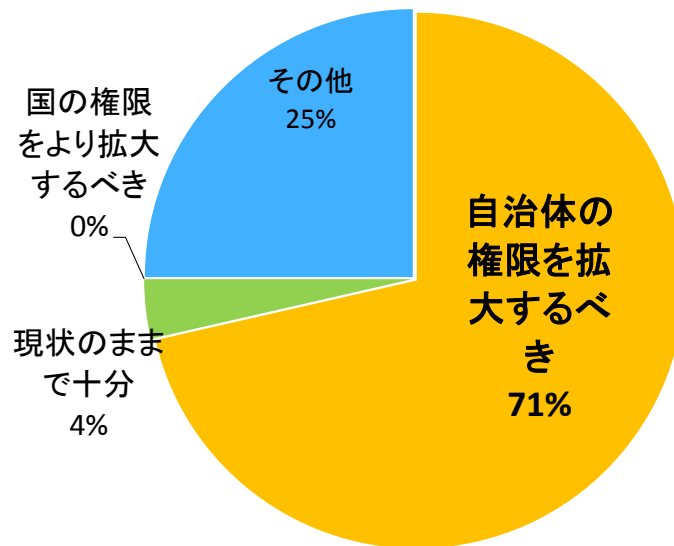
フォーラム参加者： 68 名  
アンケート回答者： 29 名  
回 答 率： 49.2%

●本日のテーマ、内容、進め方はいかがでしたか。



主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・ テーマ、人選、内容のマッチングなどが素晴らしかったです。</li><li>・ 国、自治体のトップを務められた方や、経済団体のトップクラスの方の経験に基づいた話が大変印象的でした。「現場」という言葉が一つのキーワードであったと思います。</li><li>・ 自治体職員として、これからもがんばろうと思えるものでした。</li><li>・ 全体の話をお聞きして、自治とはどうあるべきか、考えるための頭の整理になりました。特に、現場の具体的な話が興味深かったです。</li><li>・ 日本の危機は地方自治からしか変えられないと感じているので、良いテーマでした。福嶋さんの「分権」の定義を変える必要があるという話が印象的でした。</li><li>・ 市長から見た自治の考え方が理解できました。</li><li>・ 現場でオリジナリティを持って活躍してこられた福嶋さん、横山さんのお話は非常に説得力があり、また、企業人である市川さんの同友会からの提言はとても参考になりました。</li><li>・ 「地方自治」についてもっと深掘りして聞きたいと思いました。時間が足りない感じもしました。</li></ul>
------	---

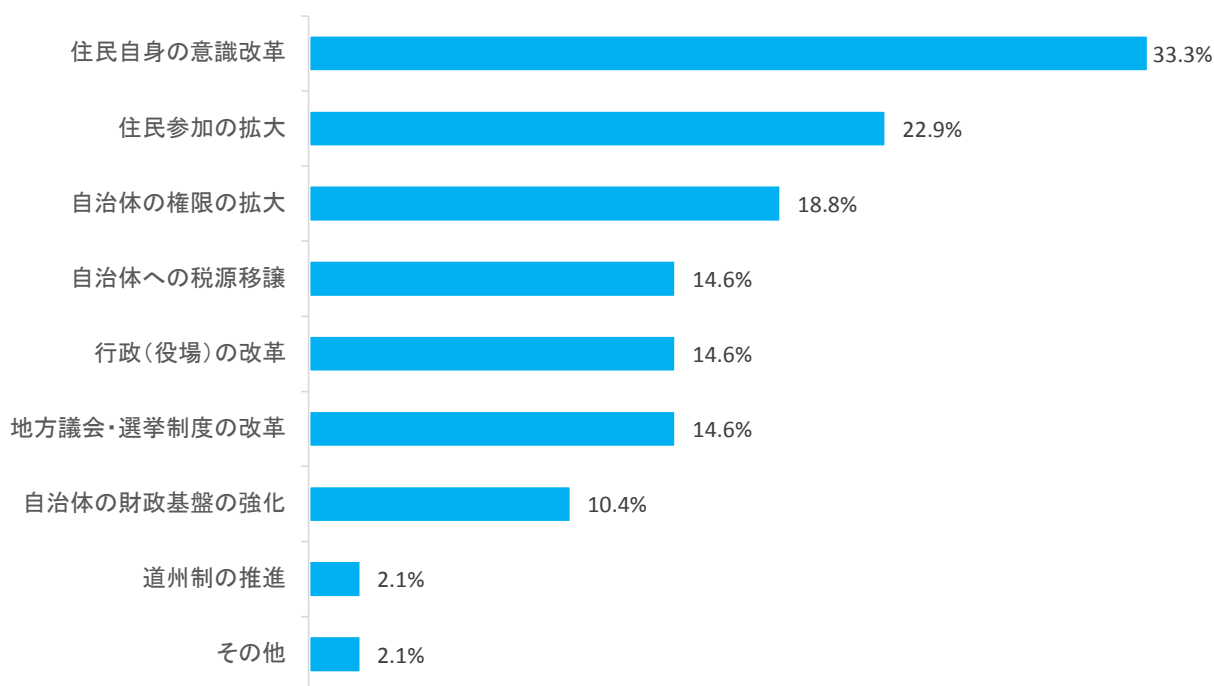
●国と地方自治体の関係はどうあるべきだと思いますか



<p>主な意見</p>	<p><b>&lt;自治体の権限を拡大すべき&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民のリーダーシップの育成が重要だと感じました。そんな仕事をしたいと思っています。ありがとうございます。</li> <li>・ 基礎自治体のリーダーとして住民との合意形成をどう進めようと考えていますが、一つの手法として、住民協議会、事業仕分けなどで住民の理解を進めようとしています。住民の当事者意識を育てるにはどうすることだとお考えでしょうか。私は、住民の意識レベルが上がらないと良い自治体にはならない。</li> <li>・ 自治体の権限を拡大すべきだとは思いますが、財政や議会の責任ももたせることとセットで進める必要があると考えます。</li> <li>・ 自治体の権限を拡大することで、地方自治と住民参加を充実させ、政治を自分事と考える精神を作っていかなければならないと思います。</li> <li>・ これからは国の権限を小さくして、住民サービスはもっと自治体がやっていくべきだと思います。</li> <li>・ 自治体の背景、個性、将来に向けての問題に即し、自治体に一番フィットした選択を可能にするために、自治体に権限を委譲していくべきです。</li> <li>・ 義務的なサービスと付加価値的なサービスを分け、自治体のサイズや地域特性をグループ化した上で、同じタイプの成功例を水平展開するという形で自治体の権限を拡大すべきだと思います。</li> </ul> <p><b>&lt;現状のままで十分&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今のままでも自治体ができることが意外と多いということを感じ、まずその部分を学んでいく必要があると思いました。</li> </ul>
-------------	---

	<p><b>&lt;その他&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体の権限を拡大すべきですが、人材や財政の問題が現状のままでは混乱が生じるのではないかと思います。</li> <li>今日のお話からも、何が何でも自治体に権限を、というわけではないというのがよくわかりました。しかし自治体に大きな権限があるところに住みたいとは思いません。</li> <li>福嶋さんの「主権を持っているのは国民、国民が持つ権限を自治体と国に分けて委ねている」との趣旨のコメントが印象的でした。</li> </ul>
--	---

- 「地方自治」を実現していくうえでやるべきことはなんだと思いますか。  
(複数回答可)



<b>主な意見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民のリテラシーが上がらなければ、自治が成立しません。住民のリテラシー向上のため、情報公開と積極的な対話を推進するしかないと感じています。</li> <li>自治体がどんな立派な計画を立てても、住民の納得と参加、協力が得られなければ計画の実施、遂行はできないので、まずは住民参加の拡大や住民の意識改革をしていく必要があると思います。</li> <li>分権の先にあるもの、目指すべき姿のイメージを一人一人が持つことが大切だと思います。</li> <li>「どれか一つ」とすれば税源移譲ですが、現実的にできることは住民参加の拡大です。</li> <li>政策論争以前の行政のあり方(やり方)は全自治体共通の問題のはずで、その考え方の共有はできないでしょうか。</li> <li>国の補助金や交付金の有無に関わらず、自ら、どのようにお金を使うかを考え</li> </ul>
-------------	---

	<p>て進められるようにするために、税源移譲や自治体の財政基盤の安定が必要だ      と思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政の責任でもあると思うが、地域の人達は人口減等を自分事として考えてい      ないと思われます。地域性もあると思いますが、行政によるわかりやすい情報      の発信は重要であると改めて感じました。</li> </ul>
--	--

● 地方の自主性を阻んでいる事例などがあればご記入ください。

<p>主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国からの予算の使い方に国が口を挟む現状が、地方の自主性を阻んでいる      と思います。</li> <li>・ 県の存在、総務省の旧自治省の存在がその一つだと感じています。</li> <li>・ 住民の自治・当事者意識の低さ、それに手を付けない行政リーダー、安住      している行政と議員の関係という現状では改革は望めないです。</li> <li>・ 従来のをやり方を継続、踏襲していれば良いという自治体の感覚と、何でも      「行政にやってもらえる」と思い込んでいる住民の意識が、自主性にブレ      ーキをかけてしまっている気がします。</li> <li>・ 行政担当者の発想が一つの原因です。現状は、物事や新しいことに対して      「否定から入る」ですが、そうではなく、「肯定から入る」発想に転換する      ことで、新しいことにチャレンジできる環境をまず作ることができます。</li> <li>・ 都道府県や、総務省の旧自治部門が自治を阻んでいると感じます。</li> </ul>
-------------	--